

IIJ、国内初のIPv6ネイティブサービスを開始

2000年6月7日

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社：東京都千代田区、代表取締役：鈴木幸一)は、2000年9月1日を目処に、専用線による「IPv6ネイティブサービス」(仮称)を開始致します。次世代インターネットプロトコルであるIPv6(IP version 6)を用いたインターネット接続を、ネイティブ型(*)でサービス化、提供するのは国内初です。サービス開始から2001年3月31日までは実験期間としてサービスを無料にて提供し、2001年4月にはSLA(サービス品質保証制度)も含めた有料サービスの提供を目指します。サービスはまず東京から提供をはじめ、対象地域を順次拡大していく予定です。

(*)ネイティブ型：IPv6のデータをそのままインターネット上で伝送する方式。IIJはこれまで、IPv6のデータをIPv4形式(現在主に使われているプロトコル)でカプセル化してIIJとユーザ間を伝送する「トンネリング」技術を用いて実験サービスを提供していました。

IPv6は、現在のIPv4 (IP version 4) のアドレス不足を解消するほか、無限大ともいえるネットワークアドレスを提供することにより携帯電話、AV機器、カーナビゲーションから家電製品にいたるさまざまな電子機器・装置のインターネット化を可能にする次世代インターネットの基礎技術です。1999年8月のIPv6サービス開始以来、IIJではIPv6開発・サービス化における国際的なイニシアティブをとることにより、同分野における運用技術を確立してきました。今回のネイティブサービスの提供により、開発力の一層の向上を図るとともに、今後ともインターネットのもつ可能性を切り拓いていきます。

【サービス概要】

サービス名称	IPv6ネイティブサービス(仮称)
サービス開始時期	2000年9月1日(予定)
サービス対象地域	東京から開始、順次各地へ展開予定
提供帯域	64kbps, 128kbps, 1.5Mbps(予定)
利用料金	2001年3月31日まで無料、その後有料(詳細は別途発表予定) なお、回線費とルータレンタル料等の費用は別途頂きます。

以上

